

鳥取市街なか暮らし促進事業 居住モニター報告(1月分)

報告事項3	川とそこを流れる空気
内容・意見 ・感想等	<p>大雪を経た現在からは想像がむずかしいほどに、お正月明けのとある日は晴れていました。袋川にかかる花見橋をいつものように歩いて渡っていたところ、いつものように穏やかに鴨が泳ぎ、冬でもこんなに緑がきれいなんだと土手の草に見とれました。とあるお店の発行する冊子でとある方が書いていたことですが、街の中に川があるということは、風の通り道がそこにあるということなんだそうです。風だけでなく、鳥が泳ぎ飛び、植物の種が漂着し、人間の生活とは別の時間がそこにゆっくりとそれぞれのペースで流れているということなんじゃないかと思います。市街地特有の忙しさとは別の、命を感じられるような場所。日々街を観察していると、いつもここに自分の気持ちが立ち返ります。</p>
状況写真	